

125. デジタル時代のITプロジェクトにおける「エンゲージメント力」アップ・トレーニング

1. 研修要領

・ITSS	2～3
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	55,000円
・研修実施日	2/4～2/5
・研修実施時間	9:30～16:30
・研修場所	福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室

2. 対象者

新しいビジネスを企画するプロジェクトリーダー

3. カリキュラムの概要

デジタルトランスフォーメーションといわれる時代、未知のビジネスを創造するには、チーム組織におけるアジリティが必要とされます。どのように顧客のビジネスプランが立案されていくのか、顧客と寄り添いながら、顧客も気が付かないような価値を考え、引き出しながら、良い関係、エンゲージメント力を発揮していただくためのコースです。働き方改革が騒がれる中、「働きやすい」だけでなく、心から「働き甲斐」を実現するプロジェクトリーダーの必須スキルを習得していただくコースです。

4. カリキュラムの詳細

2日間(12時間)

科目	時間	科目の内容
1. 今何が起きているのか 何をすべきか	2.5h	1. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える ・事例からビジネスモデルを考える(デジタル事例の紹介) ・顧客視点からエンゲージメントを考える
2. デジタル(DX)組織の事例と分析	3.5h	2. デジタル組織におけるステークホルダといまどきの役割の分析 ・ユーザー部門の 今(これから) vs 昔 [ステークホルダ分析]Influence Map 作成(ワークショップ)
3. エンゲージメント力の高いプロジェクトチームに必要なコト	2.5h	3. 自律型組織のために ～エンゲージメント力が低いと何が起ころか ・指示待ち族・くれない族(会社は何もしてくれない発言) ・伝書鳩・楽したいを思わない?・変わりたくない症候群 ・RPAといわれて疑問を持たない?・AI未満人材
4. ショートケースによる分析	3.5h	4. ビジネスモデルの見える化 [エンゲージメントの分析]ショートケースメソッドによる、課題の気づき(ワークショップ) ◎まとめ / 現場での実践にむけて
計	12.0Hr	

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

- ・プロジェクト計画において、ステークホルダの巻き込みを考慮したプロジェクト計画が作成できること。
- ・プロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素がプランできること。